令和８年度　男女共同参画に関する市民意識調査　調査票

日頃より市政に対し、御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、飯能市では、男女共同参画社会の実現を目指し、さまざまな取組を進めています。

この意識調査は、飯能市における男女共同参画に関する市民意識と生活実態を把握し、今後の市の施策を推進するための基礎資料とすることを目的としています。この調査の目的以外に利用されることはなく、回答者個人を特定する内容ではございません。

お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨を御理解の上、率直な御意見をお聞かせくださいますよう、お願い申し上げます。

記

実施期間　　令和８年１１月１０日（火）　９時００分～
令和９年　１月　９日（土）２３時５９分

調査対象　　飯能市在住の１８歳以上の方

回答方法　　**①インターネット（電子申請）**

ＵＲＬまたは二次元コードから
回答 web サイトにアクセスしてください。

インターネット
（電子申請）

＜回答用 web サイト＞
https://apply.e-tumo.jp/city-hanno-saitama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=126621

②この回答票に記入して回答

直接記入し、この調査票の置いてある窓口または、市役所本庁舎別館１階　人権くらし安全課まで御提出ください。

お問い合わせ　飯能市役所市民生活部人権くらし安全課
電　話：０４２－９７３－２１１１（内線６２０１）
ＦＡＸ：０４２－９７２－８４５５
メール：kurashi@city.hanno.lg.jp

令和８年度　男女共同参画に関する市民意識調査

あてはまる番号を選んで○をつけてください。

Ｑ１　性別を教えてください。（いずれか１つ）

１　男性
２　女性
３　その他
４　回答したくない

Ｑ２　令和８年１１月１日時点のあなたの年代を教えてください。（いずれか１つ）

１　１８～１９歳
２　２０歳代
３　３０歳代
４　４０歳代
５　５０歳代
６　６０歳代
７　７０歳代以上

Ｑ３　世帯構成について教えてください。（いずれか１つ）

１　一人暮らし（単身）
２　夫婦またはパートナーのみ
３　親＋子（２世代世帯）
４　親＋子＋孫（３世代世帯）
５　その他（　　）

Ｑ４　現在の就業形態・就業状況について教えてください。（いずれか１つ）

１　正規雇用社員（職員）
２　パートタイマー・アルバイト
３　契約・派遣社員（職員）
４　経営者・役員
５　自営業・自由業・家業
６　家事専業
７　学生
８　無職（求職中を含む）
９　その他
１０　回答したくない

Ｑ５　Ｑ４で１～３を回答した方にお伺いします。現在の役職を教えてください。（いずれか１つ）

１　管理職（部長、課長等）
２　係長級、リーダー職
３　役職なし
４　その他

Ｑ６　配偶者・パートナーがいる方に伺います。配偶者・パートナーの就業形態・就業状況を教えてください。（いずれか１つ）

１　正規雇用社員（職員）
２　パートタイマー・アルバイト
３　契約・派遣社員（職員）
４　経営者・役員
５　自営業・自由業・家業
６　家事専業
７　学生
８　無職（求職中を含む）
９　その他
１０　わからない
１１　回答したくない

Ｑ７　次の（１）～（７）の考え方についてどのように思いますか。
（回答は１つずつ）

	そのとおりだと思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
（１）男性は仕事、女性は家庭に専念する方が良い	１	２	３	４	５
（２）性別に応じた振る舞いや服装を身に着けるように育てる方が良い	１	２	３	４	５
（３）子育ては、やはり母親でなくてはと思う	１	２	３	４	５
（４）男性は、家事に向いていないと思う	１	２	３	４	５
（５）女性は、職場等で責任のある仕事に向いていないと思う	１	２	３	４	５
（６）自治会などの団体の代表は、男性の方が良い	１	２	３	４	５

Ｑ８　男性が社会の中で感じることがある負担や困難について、あなたはどのように思いますか。（回答は１つずつ）

	そのとおりだと思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
（１）「男性は強くあるべき」「我慢すべき」という考え方がある	１	２	３	４	５
（２）「男性は仕事を優先すべき」という期待を感じる	１	２	３	４	５
（３）家庭を経済的に支える責任を求められる	１	２	３	４	５
（４）子育てや介護のために休暇や休業を取りにくい	１	２	３	４	５
（５）仕事より家事・子育て・介護を積極的に担うことへの周囲の理解が得にくい	１	２	３	４	５
（６）弱音や悩みを人に相談しにくい	１	２	３	４	５

Ｑ９　現在、次の分野では、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。（回答は１つずつ）

	男性が優遇	どちらかといえば男性が優遇	男女平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が優遇	わからない
（１）家庭	１	２	３	４	５	６
（２）就職・採用	１	２	３	４	５	６
（３）職場	１	２	３	４	５	６
（４）教育	１	２	３	４	５	６
（５）地域・社会活動	１	２	３	４	５	６
（６）政治・政策決定	１	２	３	４	５	６
（７）慣習・しきたり等	１	２	３	４	５	６
（８）社会全体	１	２	３	４	５	６

Ｑ１０　男女平等を実現するために、どの分野で特に進展が必要だと思いますか。（３つまで）

１　家庭
２　職場
３　教育
４　地域・社会活動
５　政治・政策決定
６　慣習・しきたり等
７　社会全体
８　特にない
９　わからない

Ｑ１１　一人暮らし（単身）以外の方に伺います。次の分野における、あなたの家庭での役割分担について教えてください。（いずれか１つ）

（１）家事　・・・外注　→　**その他**
（３）介護　・・・施設入所・入院など　→　**その他**

	主に男性	男性・女性同程度	主に女性	その他	該当しない
（１）家事	１	２	３	４	５
（２）子育て	１	２	３	４	５
（３）介護	２	３	４	５	５

Ｑ１２　Ｑ１１（１）～（３）で「該当しない」以外を回答した人に伺います。性別にかかわらず誰もが積極的に携わるためには、どのようなことが重要だと思いますか。（当てはまるもの全て）

１　男性が家事・子育て・介護に主体的に参画することへの意識を高める
２　女性が男性の家事・子育て・介護に参画することについて、理解を深める
３　職場や社会、家族、周囲の人が、家事・子育て・介護の分担について、男性が参画することへの理解を深め、尊重する
４　柔軟な勤務時間の導入や長時間労働の改善など働き方を見直す
５　啓発や情報提供を行う
６　男性が子育て・家事などを行うための仲間づくりやネットワークづくりを進める
７　その他（　　）

Ｑ１３　あなたは、女性の働き方についてどのように思いますか（いずれか１つ）

１　結婚、出産、子育てにかかわらず、仕事を続ける
２　結婚するまでは仕事をして、結婚後は家事などに専念する
３　こどもができるまでは仕事をして、出産後は家事や子育てに専念する
４　子育ての時期だけ辞め、その後はフルタイムで仕事を続ける
５　子育ての時期だけ辞め、その後はパートタイムで仕事を続ける
６　仕事をしない
７　その他（
８　わからない

Ｑ１４　結婚・出産後も女性が働き続けるために、必要なことは何ですか。（当てはまるもの全て）

１　保育所や学童保育など、こどもを預けられる環境の整備
２　短時間勤務や在宅勤務等、職場における子育てとの両立支援制度の充実
３　男性が家事・子育て・介護を担うことへの周囲の理解・意識改革
４　女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革

５　長時間労働の改善を含めた働き方の見直し
６　家事・子育て・介護に対する支援の充実
７　働き続けることへの女性自身の意識改革
８　女性が働き続ける必要はない
９　その他（　　）

Ｑ１５　性別にかかわらず、働きやすい環境にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（当てはまるもの全て）

１　家庭生活と両立できるよう、労働時間の短縮や柔軟な勤務制度を促進すること
２　職務内容や昇任、昇格などにおける男女平等を進めること
３　ハラスメント（相手に不快感や不利益を与えるいやがらせ）のない職場づくりを進めること
４　出産・子育て・介護と仕事の両立に向けた社会的理解を深め、育児休業・介護休業制度の利用を促進すること
５　子育てや介護などで離職した人の再就職・再雇用を支援すること
６　保育所・学童保育や介護サービスなど、仕事と家庭生活を両立するための支援を充実を図ること
７　男性が家事・子育て・介護を主体的に担う意識を広めること
８　その他（　　）
９　特になし

Ｑ１６　生活の中での「理想」と「現実」の優先度を選んでください。（回答は１つずつ）

１　仕事
２　家庭生活
３　プライベート　　理想 ⇒ [　　]
４　仕事と家庭生活
５　仕事とプライベート　　現実 ⇒ [　　]
６　家庭生活とプライベート
７　仕事、家庭生活とプライベート

Ｑ１７　現在、地域や社会の活動に参加していますか。（当てはまるもの全て）

１　自治会・町内会などの活動
２　PTA・子ども会などの活動
３　防災・防犯などの活動
４　ボランティア・NPO などの活動
５　文化・スポーツなどの活動
６　その他（　　）
７　参加していない

Ｑ１８　方針・政策決定の場に女性の参画を促進するために（１）～（５）について、どの程度重要だと思いますか。（回答は１つずつ）

	とても重要	どちらかといえば重要	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
（１）仕事、家事、子育て、介護などと両立しやすい環境整備	１	２	３	４	５
（２）地域や社会活動に関する情報提供や人材育成の機会の充実	１	２	３	４	５
（３）防災組織への女性の積極的な登用	１	２	３	４	５
（４）自治会長や役員への女性の積極的な登用	１	２	３	４	５
（５）市の審議会・委員会など、政策や方針を決める場への積極的な登用	１	２	３	４	５

Ｑ１９　過去５年間に配偶者、パートナー、恋人から以下のようなＤＶをされたことがありますか。（回答は１つずつ）

	現在、ひんぱんにある	現在、時々ある	過去にひんぱんにあった	過去に時々あった	全くない	回答したくない
（１）なぐる、ける、突き飛ばされるなどの身体的な暴力	１	２	３	４	５	６
（２）暴言や交友関係・ＳＮＳの監視、無視などの精神的な暴力	１	２	３	４	５	６
（３）性的な行為の強要や、望まない身体への接触などの性的な暴力	１	２	３	４	５	６
（４）必要な生活費を渡さない、仕事をやめさせるなどの経済的な暴力	１	２	３	４	５	６

Ｑ２０　Ｑ１９で「全くない」以外を回答した方に伺います。Ｑ１９の行為をされた時に誰かに相談した経験はありますか？（当てはまるもの全て）

１　家族・親族

２　友人・知人

３　警察

４　医師・カウンセラー

５　弁護士

６　公的な相談機関（差し支えなければ機関名も教えてください）

（機関名：　　）

７　民間の相談機関（差し支えなければ機関名も教えてください）

（機関名：　　）

８　その他（　　）

９　誰にも相談しなかった

１０　相談したかったが、誰にも相談できなかった

１１　回答したくない

Ｑ２１　Ｑ２０で「誰にも相談しなかった」または、「相談したかったが、誰にも相談できなかった」を回答した方に伺います。
その理由は何ですか。（当てはまるもの全て）

１　誰に相談してよいかわからなかった
２　恥ずかしくて、誰にも言えなかった
３　相談しても無駄だと思った
４　相手に知られると、仕返しをされると思った
５　自分が我慢すれば、このままやっていけると思った
６　相談するほどのことではないと思った
７　自分にも悪いところがあると思った
８　その他（　　）
９　回答したくない

Ｑ２２　ＤＶに対する対策や支援として、どのようなことが必要だと思いますか。（当てはまるもの全て）

１　ＤＶは重大な人権侵害であり、決して許されない行為であることの啓発
２　学校におけるデートＤＶ防止教育の充実
３　相談体制の充実と相談機関の周知
４　緊急時に安全を確保するための避難先の確保
５　被害者の心のケアのためのカウンセリングの実施
６　被害者の自立に向けた情報提供や就業支援
７　医療機関、警察、福祉関係機関等との連携強化
８　再発防止に向けた取組
９　その他（　　）

Ｑ２３　（１）～（９）の用語をご存知ですか？（回答は１つずつ）

	おおむね内容を知っている	言葉だけは知っている	知らない
（１）男女共同参画社会	１	２	３
（２）ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）	１	２	３
（３）ワーク・ライフ・バランス	１	２	３
（４）ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）	１	２	３
（５）デートＤＶ	１	２	３
（６）ＬＧＢＴＱ（性的マイノリティ）	１	２	３
（７）アンコンシャス・バイアス	１	２	３
（８）飯能市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度	１	２	３
（９）困難な問題を抱える女性への支援に関する法律	１	２	３

Ｑ２４　男女共同参画社会を目指すため、市はどのような取り組みをする必要があると思いますか。（当てはまるもの全て）

１　男女共同参画への意識啓発や講座の開催
２　学校における男女平等や多様性を尊重する教育の推進
３　ワーク・ライフ・バランスの推進
４　性別にかかわらず、誰もが働きやすい労働環境の整備
５　女性のキャリア形成や活躍を促進するための事業所との連携強化
６　政策・方針決定の場への女性の参画促進や女性リーダーの育成
７　男性の家事・子育て・介護への参画促進
８　悩みや困難を抱える人への相談体制の充実
９　女性に対する暴力の防止と被害者支援の充実
１０　その他（　　）

Ｑ２５　女性の方にお伺いします。あなたが、過去に抱えた・現在、抱えている課題について教えてください。（当てはまるもの全て）

１　配偶者・パートナー・恋人・家族などからの暴力
（ＤＶ、デートＤＶ、身体的・心理的・性的・経済的暴力など）
２　性暴力・性犯罪被害（痴漢、盗撮、同意のない性的行為、ＳＮＳ等を通じた被害など）
３　ストーカー被害
４　住居や家庭に関する問題（住む場所の確保、離婚、家庭不和など）
５　家族やパートナーの依存症・借金問題（アルコール、ギャンブルなど）
６　自身や家族の障害・疾病、心身の不調
７　経済的な困窮（食料や生活必需品を買えないなど）
８　孤独・孤立
９　その他（　　）
１０　特にない
１１　回答したくない

Ｑ２６　女性の方にお伺いします。
Ｑ２５で挙げた課題の解決や、困難な状況にある女性への支援のために、どのようなことが必要だと思いますか。（当てはまるもの全て）

１　困難な状況に気づき、話しを聞いたり、相談にのってくれる人の存在
２　安心して過ごせる居場所の確保
３　支援制度、相談窓口や専門機関に関する情報提供
４　安心して相談できる窓口や支援体制の充実
５　家族や周囲の人の理解と協力
６　生活再建に向けた支援（就労支援や資格取得、経済的支援など）
７　緊急時に安全を確保するための支援
８　その他（
９　特にない
１０　わからない
１１　回答したくない

質問は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。